

1966 THE BEATLES in JAPAN

1966年6月29日、当時ユースカルチャーの頂点にいたビートルズが来日しました。今からちょうど40年前のことです。4日間の日本滞時に警備にあたった警察官の総数は約8500人、待機した警官を含めると2万人。総経費は1億円を超えたそうです。

ビートルズは1962年にレコードデビュー、1970年に解散するまでの8年間活動し、1964年のアメリカ公演が成功したのちは世界中を席卷するスーパースターとなりました。

1964年にはヒットチャートの1位から5位を独占し、主演映画が製作され、国家に対する経済的貢献からMBE勲章を授与されました。1975年の調査によると、アルバム『アビーロード』が1300万枚、『サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』が1100万枚、『ミート・ザ・ビートルズ』が900万枚を売上げたそうです。

バンドが解散して30年以上たった今でもファンクラブがあり、ベスト盤が発売され、世界中で愛され続けています。

記録にも記憶にも名を残し、まさに歴史へ名を刻んだ彼らが残した名曲、エピソードの数々を来日40年という節目に味わってみてはいかがでしょうか。時代を超えて、クリエイティブなパワーが伝わってくることうけあいです。

The Beatles Biography

- 1940年 リンゴ・スター誕生
ジョン・ウインストン・レノン誕生
- 1942年 ジェームズ・ポール・マッカートニー誕生
- 1943年 ジョージ・ハリスン誕生
- 1957年 ジョンが「クオリーメン」を結成
ポールが「クオリーメン」に加入
- 1958年 ジョージがポールの紹介で「クオリーメン」に加入
- 1960年 バンド名を「シルヴァー・ビートルズ」、後に「ビートルズ」と改名
初のハンブルグ巡業
- 1961年 2度目のハンブルグ巡業
- 1962年 リンゴがビートルズに加入
- 1963年 アルバム『Please Please Me』発売
アルバム『With the Beatles』発売
- 1964年 「エド・サリヴァン・ショー」に出演し72%の視聴率を記録
アルバム『A Hard Day's Night』発売
アルバム『Beatles for Sale』発売
- 1965年 アルバム『Help!』発売
- 1966年 アルバム『Revolver』発売
- 1967年 アルバム『Sgt. Pepper's Lonely Hearts Club Band』発売
アルバム『Magical Mystery Tour』発売（アメリカのみ）
- 1968年 アルバム『The Beatles』発売
- 1969年 アルバム『Yellow Submarine』発売
アルバム『Abbey Road』発売（最後のオリジナルアルバム）
- 1970年 アルバム『Let It Be』発売
ビートルズ解散

1. The Beatles anthology.

<請求記号 765/59 (大学図・書庫)>

ビートルズのオフィシャルヒストリーブック。彼らの発言、写真が豊富。

2. 英語のノンセンス : チョーサーからビートルズ笑いの系譜.

<請求記号 937/6 (大学図・開架)>

3. 高度成長 : ビートルズの時代 : 1961-1967 年.

<請求記号 209.7/80/2 (大学図・開架)>

4. これがビートルズだ.

<請求記号 080/16/1653 (女大図・開架)>

ビートルズの音楽と物語は発見と謎の連続であり、それは未知の驚きとスリルにみちている。ビートルズ全作品の謎に迫る。

5. ザ・ビートルズ大全.

<請求記号 765/97 (大学図・参考)>

ビートルズとそのメンバーの今日に至るまでの活動と発表した全作品、さらには関連する主要な作品や関係する人物などを事典的にまとめている。

6. 証言! ビートルズとスーパースターたち.

<請求記号 765/84 (大学図・開架)>

ビートルズ、アバ、ローリング・ストーンズ、スターたちの生の姿を、多くの未公開エピソードと共に記している。

7. ビートルズ.

<請求記号 080/16/851 (女大図・開架)>

THE BEATLES. 伝説の'60年代を、ポスト・モラトリアムに向けて読み直している。

8. ビートルズ.

<請求記号 765/65 (大学図・開架)>

「ポールの死亡説」

1969年に一時、ポールが死亡したとの情報が広がりました。『Abbey Road』のジャケットでポールだけが裸足であり、裸足は死者を意味するなどこじつけに思えるような様々な根拠が挙げられました。その後、収まらない噂の収拾をつけるため自らがアメリカの雑誌「ライフ」誌のインタビューに応じ、声明を発表。これによりピリオドが打たれました。

9. ビートルズ : 二〇世紀文化としてのロック.

<請求記号765/63 (大学図・開架)>

ルーツとしての「ケルト性」とブラックミュージックの「黒さ」—その絶妙なミクスチュア感覚こそ、彼らの「マジック」の秘密。全世界を席卷し、音楽を、文化を一変させた革命的グルーブを徹底解剖。

10. ビートルズ : 二重の主旋律 : ジョンとポールの相聞歌.

<請求記号 765/109 (大学図・開架)>

彼らが謳う「愛」とは?その答えを曲に求め、作品の変遷をジョンとポールの関係論から論じている。

12. ビートルズからのラブ・レター : 4人がやりとりした51通のポストカード.

<請求記号764/31 (女大図・開架)>

ジョン、ポール、ジョージがリンゴ・スターに送った51枚のポストカードをそのまま掲載。

13. ビートルズとは何だったのか.

<請求記号 765/120 (大学図・開架)>

ビートルズの音楽とその存在は、同時代の文化が様変わりしていった過程に、どのような影響を与えたのか。

14. ビートルズ日本盤よ、永遠に : 60年代の日本ポップス文化とビートルズ.

<請求記号 Best/2003 (大学図・開架)>

1964年2月5日、初シングル『I Want Hold Your Hand』発売。中2の著者の青春が駆動し始めた。リアルタイムのビートルズ体験記。

15. ビートルズの研究.

<請求記号 765/103 (大学図・開架)>

衝撃のデビューと驚異的成功、サブカルチャー、後期の歌詞の変化、高度の音楽性とたくらみ、ポストモダン性、芸術的自由と検閲など、多方面から社会学的に考察。

16. ブリティッシュ・ロックの黄金時代 : ビートルズが生きた激動の十年間.

<請求記号 765/116 (大学図・開架)>

ビートルズを先頭に、世界各地の反戦闘争など政治的・社会的な問題、ヒッピーやサイケデリック・ムーヴメントなどの文化領域と相互交流しながらミュージック・シーンを展開したブリティッシュ・ロックの10年間の軌跡。

「われわれはキリストより有名だ」

1966年のアメリカツアー中にジョンが発言。アメリカの熱心なキリスト教信者を中心にビートルズ・ボイコット運動が起こり、ツアー中には、メンバーの命を狙う脅迫事件にまで発展した。後に、ジョンは謝罪しました。

17. 旅客機連続墜落とビートルズ来日.

<請求記号 DVD : VD210/1/14 (女大図・開架) 冊子 : 210.7/269/14 (女大図・開架) >
大型旅客機の連続墜落、長嶋選手と王選手豪華結婚披露宴、東京都議会の黒い霧、朝永振一郎ノーベル賞受賞、ビートルズ来日、松代の群発地震、千葉大集団チフス事件などを収録。

18. ロックの感受性 : ビートルズ、ブルース、そして今.

<請求記号081/30/138 (女大図・開架) >
東京・新宿に生まれ、原っぱを駆け巡る少年は、60年代初頭、ビートルズの音楽と出会い、何にときめき、どんな旅に出ることになったのか。

19. ジョン・レノンの真実 : FBI監視記録DE-4~HQ-33.

<請求記号317.9/74 (大学図・開架) >
FBIは反政府活動に従事しているとしてジョン・レノンを監視し続けていた。

20. ジョン・レノン伝説.

<請求記号上巻 : 765/37/1 (大学図・書庫) 下巻 : 765/37/2 (大学図・書庫) >

21. スターリンからジョン・レノンまで.

<請求記号280.4/19/2 (大学図・開架) >
マルクス、ヒトラーに、カボネ、ケネディ、マリリン・モンロー、ジョン・レノン……現代史の巨星たちへのインタビューを収録。

24. レノン・リメンバーズ.

<請求記号765/70 (大学図・開架) >
「ぼくはビートルズを信じない」という有名な一節を含む衝撃的な初ソロ・アルバム『ジョンの魂』のリリースと同時期の1970年12月に米ローリング・ストーン誌上でのジョンのインタビューを1冊にまとめたもの。

25. Come together : ジョン・レノンとその時代.

<請求記号765/18 (大学図・書庫) >

26. Aiジョン・レノンが見た日本.

<請求記号Chikuma/れ 2/1 (大学図・開架) >
ジョン・レノンが、絵とローマ字を使って日本語を学んだスケッチブック。

「ジョンとヨーコと学習院」

ジョン・レノン(1940~1980)の妻で芸術家・音楽家のオノ・ヨーコ(1933~)は、20才まで学習院大学に在籍していました。意外ですね。

27. ザ・クオリーメン : ジョン・レノンの記憶.

<請求記号765/79 (大学図・開架) >
ジョンが中学時代に始めてバンドを組んだ仲間たちの視点から描かれたノンフィクション。

28. 宗教を考える : ジョン・レノンの世界.

<請求記号160.4/29 (女大図・開架) >
ジョン・レノンのメッセージ、「愛と平和」の深意を説き、宗教の意味・役割を考察。

29. ジョン・レノン.

<請求記号765/73 (大学図・開架) >
18年の交友と数多くの証言をもとに、人間ジョンの生涯をたどる。その天才ぶりなど目もくれず、「心優しき悪ガキ」としてのジョンの“冒険”に著者は着目している。

30. ジョン・レノンを聴け!

<請求記号765/113 (大学図・開架) >
ソロ時代のジョンの特徴と傾向とは。さまざまな思いが込められた曲を通して、ビートルズのジョンとは違った等身大の魅力が甦る。

31. ジョン・レノン最後の日々.

<請求記号765/54 (大学図・開架) >
ジョンの主夫生活の実態など、レノン一家の奇妙な生活を克明に描く。

33. ジョン・レノン魂の軌跡.

<請求記号760.23/70 (大学図・開架) >
精神分析と最先端のカルチュラル・スタディーズの理論を用いてセレブリティとしての虚像と神話を脱構築し、真実のレノンに迫る。

34. ラバーソウルの弾みかた : ビートルズから《時》のサイエンスへ.

<請求記号704/150 (大学図・開架) >
戦後アメリカに始まった音楽ムーブメントは、ビートルズの登場で爆発的に拡がり、人々の心の作動のしくみを変えた。60年代に表出した巨大な変化の全体像を探るポップカルチャー論。

35. The Beatles.

<請求記号Pengrd/L3/23 (大学図・開架) >
洋書。英語の勉強にどうぞ。

「1966 THE BEATLES in JAPAN」
学習院大学図書館11月-12月展示
平成18年12月1日発行
担当：整理課 瀬戸山